



第39回全国豊かな海づくり大会 あきた大会

海づくり つながる未来 豊かな地域

基本計画書



平成30年4月

第39回全国豊かな海づくり大会
秋田県実行委員会

目 次

I 全体概要	
1 大会の概要	1
2 開催の意義	2
3 基本理念	4
4 基本方針	4
II 大会計画	
1 全体計画	5
2 式典行事	9
3 海上歓迎・放流行事	12
4 歓迎レセプション	14
5 関連行事	15
6 大会運営計画	16
7 宿泊・輸送等計画	16
8 荒天時等の計画	19
III 機運醸成・広報計画	
1 機運醸成に向けた取組	20
2 広報活動	21
IV 予算及び実施スケジュール	
1 予算	22
2 実施スケジュール	23

※ 全国豊かな海づくり大会は、通例として天皇皇后両陛下の御臨席のもとに開催されていることから、本大会においても天皇皇后両陛下の御臨席を想定し、基本計画を作成しています。

I 全体概要

1 大会の概要

- (1) 大会名称 第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会
- (2) 主催 豊かな海づくり大会推進委員会
第39回全国豊かな海づくり大会秋田県実行委員会
- (3) 開催時期 2019年秋季
- (4) 開催場所 「式典行事」 秋田市 秋田県立武道館
「海上歓迎・放流行事」 秋田市 秋田港
「関連行事」 秋田市ほか
- (5) 行事内容（予定）
- ア 式典行事
功績団体の表彰、最優秀作文の発表、漁業後継者の決意表明や大会決議 など
- イ 海上歓迎・放流行事
漁船などによる海上歓迎パレード、稚魚放流 など
- ウ 歓迎レセプション
本県農林水産物の食材によるおもてなし など
- エ 関連行事
各種コンクール優秀作品の展示、企画展示・特産品販売 など
- (6) 大会テーマ
海づくり つながる未来 豊かな地域

(7) 大会キャラクター

秋田県のPRキャラクター「んだッチ」とし、第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会の開催趣旨にふさわしいコスチュームデザインを公募により選定。



I 全体概要

2 開催の意義

(1) 秋田の水産業振興と漁村地域の活性化

東北地方の北西部に位置する秋田県は、日本海に面した雄大な自然に恵まれています。中でも、世界自然遺産の白神山地や秀麗な鳥海山をはじめ、美しい景色が続く男鹿半島は、国内でも人気の観光スポットです。また、海岸部の約7割を砂浜海岸が占めており、日本海に注ぐ米代川や雄物川、子吉川の三大河川沿いには、米どころ秋田を支える肥沃な平野が開けています。

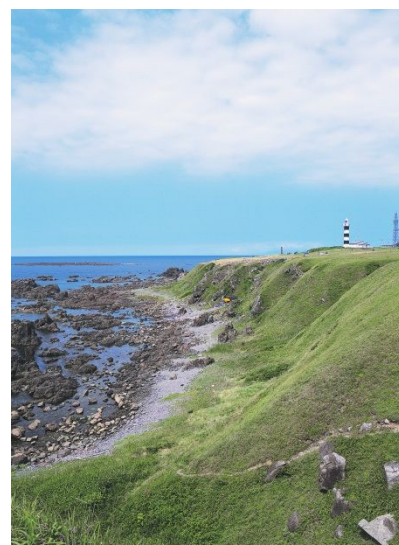
本県沖は、対馬海流（暖流）とリマン海流（寒流）が流れ込むことから、多種多様な魚介類が生息しています。底びき網や定置網、さし網などによって水揚げされる魚介類は150種類以上で、中でもハタハタや北限の産卵場を有するトラフグ・マダイ、鳥海山の伏流水で育つイワガキなどは、本県を代表する水産物といえます。

近年の漁業環境の変化など水産業を取り巻く様々な課題を克服するため、本県では、漁業者と自治体などが一体となって「つくり育てる漁業」を重点的に推進し、県産水産物の高付加価値化やブランド化に向けた多彩な取組も積極的に行っています。

秋田県民歌で「山水皆これ、詩の国」と謳われている秋田の地において、全国豊かな海づくり大会を開催することは、多様な自然環境と魚介類に恵まれた本県の水産業を、全国の皆様に広く知っていただく絶好の機会となります。これを機に、秋田の魅力に磨きをかけ、全国から訪れる方々との交流を通じて、水産業の振興と漁村の活性化につなげていきます。



鳥海山と金浦漁港



男鹿半島・入道崎

I 全体概要

(2) 豊かな海を育む森と河川・湖沼の保全と未来への継承

東部の県境には奥羽山脈が縦走し、八幡平や駒ヶ岳、栗駒山などの豊かな森は、清冽な河川の源となって多様な生き物を育み、母なる日本海へとつながっています。サケやサクラマス、アユ、イワナなど、「命の水系」の恵みをいただく内水面の漁業者は、平成15年3月に制定された「秋田県水と緑の条例」の趣旨に沿いながら、水源から海に至る生態系のバランスのとれた水環境の保全・管理を通じて、持続的に資源を活用しています。

また、本県には、十和田湖と田沢湖、八郎湖の三つの湖があり、これら三湖を舞台とした壮大なスケールの「秋田龍神伝説」は今なお脈々と語り継がれ、秋田の創世を物語る民話となっています。その十和田湖ではヒメマス、八郎湖ではワカサギが主な漁獲対象種であり、田沢湖では戦前、固有種である「奇跡の魚・クニマス」も捕られていました。

今回の全国豊かな海づくり大会では、森から河川・湖沼を経て海へと至る自然環境の保全と、そこに育まれる生命の大切さについて、県内外に力強くアピールしていきます。

(3) 秋田の海にまつわる歴史・食文化の魅力の発信

本県沿岸の多様な魚介類は、県民の食生活に恵みと潤いを与え、独特の食文化を育んできました。特に、秋田県民にとって特別な存在である県の魚ハタハタについては、資源量の激減を受け、平成4年から3年間、自主的な全面禁漁に取り組み、その後、恒常的な資源管理を続けています。長らく本県の漁業経営を支えてきたハタハタは、しょつつる（魚醬）や飯ずしなどの伝統食の素材としても、本県の食文化を牽引してきました。



ハタハタかやき※

また、北前船の舟運が発達した江戸時代には、米や酒をはじめ、魚肥や秋田杉、銀・銅などの特産物を上方に運び、経済と文化が行き交う交易圏を形成するなど、本県独自の歴史と文化を創り出してきました。

今回の全国豊かな海づくり大会では、長年にわたって培ってきた、こうした本県の歴史・文化と食の魅力を全国に向けて発信していきます。

※かやき・・・秋田弁で一人鍋のことで鱈、鯨、山菜など旬の食材を「かやき」にして、一年中楽しめる

I 全体概要

3 基本理念

秋田県の特徴ある水産物や農山漁村地域の環境・歴史・文化などの魅力を全国に広く発信するとともに、水産業の振興と観光との融合による地域の活性化を図ります。

4 基本方針

(1) つくり育てる漁業を中心とした水産業の振興と地域の活性化

漁業者の所得向上や漁村の活性化など、本県水産業の現状と課題をしっかりと見据えて、平成30年度にリニューアルする秋田県水産振興センター栽培漁業施設を核としながら、「つくり育てる漁業」を進化・発展させるとともに、「漁業後継者の育成・確保」や「水産加工品の開発・販売」などに重点的に取り組み、本県水産業の振興と地域の活性化につなげる大会とします。

(2) 豊かな自然環境の保全・利活用

海や河川・湖沼がもたらす豊かな恵みに深く感謝し、守り育てる意識を育むとともに、将来にわたって自然環境と共生し、地域資源の効果的な活用を目指す大会とします。

(3) 観光と水産との融合

観光との融合を図りながら、本県の歴史に根付いた魚食・漁村文化や豊かで美しい自然環境などの魅力を発信し、未来へと継承する大会とします。

(4) 秋田の魅力とまごころあふれる大会のアピール

県民総参加のもと、豊かな自然や多彩な伝統文化、食文化を誇る秋田において、全国から訪れる方々を秋田らしい、まごころで迎えるおもてなしの大会とします。



県民総合リレー放流



地魚フェスティバルの様子

Ⅱ 大会計画

1 全体計画

(1) 計画概要

ア 基本的な考え方

本県の特色ある水産業の魅力や、豊かな海につながる河川・湖沼等の自然環境を全国に発信する大会とします。

また、漁業等により代々育まれてきた豊かな食文化、歴史、文化など、本県の魅力を満喫できる多彩な催しや展示、物販等を展開し、心のこもったおもてなしで県内外からの来場者をお迎えします。

イ 行事構成

(ア) 式典行事

厳粛で品格のある演出・進行により、豊かな海づくりのために功績があった団体等の表彰、漁業後継者の決意表明や大会決議を行います。

(イ) 海上歓迎・放流行事

漁業関係者からの協力を得て、漁船等による海上歓迎行事を行うとともに、つくり育てる漁業を担う稚魚等の放流を行います。

(ウ) 歓迎レセプション

大会関係者を招待して、本県の豊かな農林水産物等の食材を提供することにより、秋田らしい心のこもったおもてなしを行います。

(エ) 関連行事

県内外からの来場者に本県の特色ある水産業をはじめ、豊かな海づくりにつながる環境保全等に向けた取組を広く紹介します。また、地元のおいしい魚介類や特産品、伝統文化など、本県の魅力を満喫していただきます。

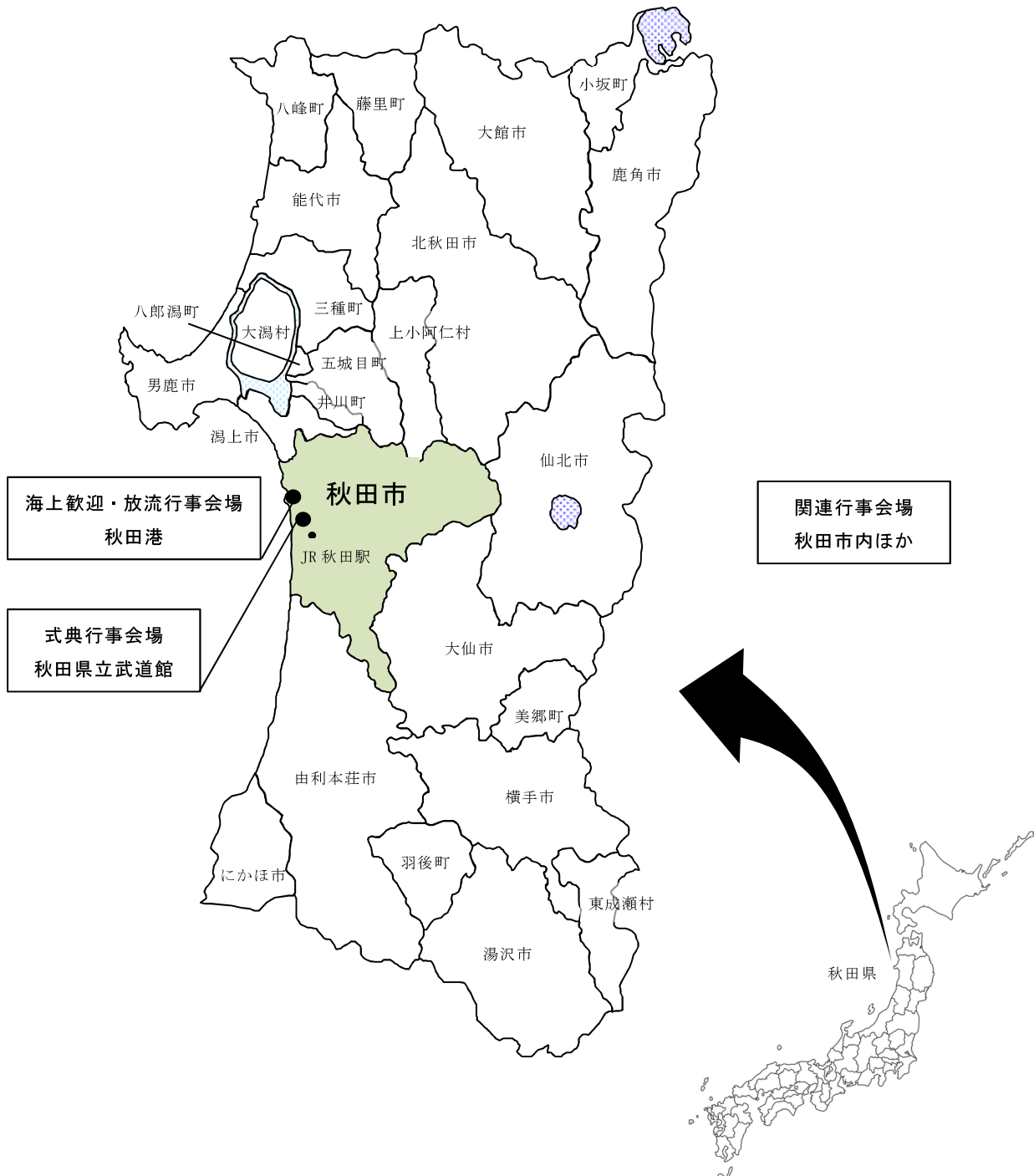
Ⅱ 大会計画

(2) 会場配置

ア 基本的な考え方

会場となる施設や敷地形状、立地を最大限に生かし、会場設営の経費を節減しながら、すべての来場者に安全・安心で快適な会場づくりを計画します。

あきた大会 会場配置



Ⅱ 大会計画

(ア) 式典行事会場【秋田県立武道館】

既存施設の設備・空間を生かし、秋田らしい演出で式典行事を行います。

式典会場は、秋田県立武道館内の大道場とし、会場レイアウトや既設のステージ・イス席の活用方法については、出席者の動線や安全性等に配慮しながら、音楽隊等出演者の演奏や演技が円滑に推進できるよう、実施計画で定めます。



秋田県立武道館

(イ) 海上歓迎・放流行事会場【秋田港】

北前船の寄港地等の歴史文化に彩られた、県内の最大河川である雄物川の旧河口に展開する県内最大の港湾という立地を生かし、港内ふ頭と水面を利用した海上歓迎行事と放流行事を行います。

海上歓迎・放流行事の会場は、秋田港飯島地区とし、会場レイアウトや港湾関連施設等既存施設の活用方法については、出席者の動線や安全性、輸送車両・参加船舶の経路・駐車方法等に配慮しながら、プログラムが円滑に推進できるよう、実施計画で定めます。



秋田港（飯島地区）

Ⅱ 大会計画

(ウ) 歓迎レセプション会場

円滑に御懇談ができることを最優先に、本県の豊かな食材の提供や秋田らしい心のこもったおもてなしができる会場とします。

(エ) 関連行事会場

ステージイベントや企画展示、ふれあい体験、特産品販売エリア等で構成し、本県の特色ある水産物や農山漁村地域の環境・歴史・文化等の魅力を全国に広く発信するとともに、水産業の振興と観光との融合による地域活性化につなげていきます。

(3) 行事計画

ア 基本的な考え方

各行事のタイムスケジュールに従い、招待者及び来場者の移動が円滑にできるように安全面、機能面を十分に考慮した行事計画とします。

式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場及び関連行事会場において、一体感のある演出を行うため、大型映像装置を活用した映像中継を行います。

イ 行事の構成（案）

会場		式典行事会場	海上歓迎・放流行事会場	歓迎レセプション会場	関連行事会場
一日目	9:00	前日総合リハーサル	前日総合リハーサル	作品御覧 歓迎レセプション	関連行事 ・ステージイベント ・企画展示 ・ふれあい体験 ・特産品販売
	17:00				
二日目	9:00	開場 式典行事	式典行事中継		関連行事 ・ステージイベント ・企画展示 ・ふれあい体験 ・特産品販売 ・各行事中継
	12:00				
	15:00	海上歓迎・放流行事			
	17:00				

※ 詳細なタイムスケジュールは、実施計画で定めます。

Ⅱ 大会計画

2 式典行事

(1) 会場配置

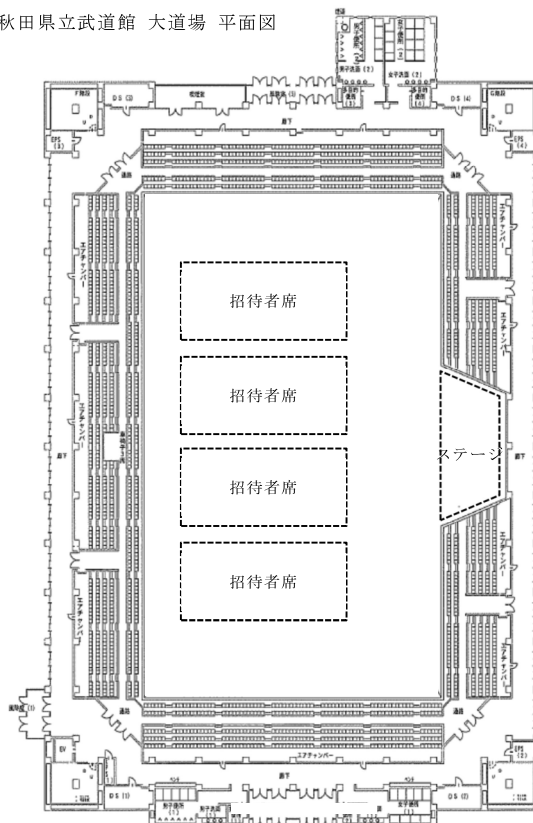
ア 基本的な考え方

2019年秋季の日曜日（午前）の開催とし、場所は秋田県立武道館とします。

すべての席から式典状況が見えやすいレイアウトとし、できるだけ既存施設・設備の利活用を図りながら、厳粛で簡素な構成とします。

式典会場レイアウトイメージ (詳細は実施計画で決定)

秋田県立武道館 大道場 平面図



平成29年 福岡大会の実施状況



平成28年 山形大会の実施状況

Ⅱ 大会計画

(2) 行事計画

ア 基本的な考え方

秋田県の多様性のある海の大切さと、水産振興の取組を全国に発信する内容とします。

イ プログラムの概要（案）

進 行	内 容 ・ 出 演 者 等
プロローグ	秋田県紹介映像
御臨席	御先導：秋田県知事
大会旗入場	旗手：県内高等学校生徒、先導：鼓笛隊等
開会のことば	秋田県漁業協同組合代表理事組合長
国歌斉唱	音楽隊演奏
主催者あいさつ	全国豊かな海づくり大会会長（衆議院議長）、秋田県知事
歓迎のことば	秋田市長
表彰（功績団体等）	全国豊かな海づくり大会会長賞、農林水産大臣賞、環境大臣賞、水産庁長官賞、秋田県知事賞
最優秀作文の発表	全国豊かな海づくり大会会長賞の受賞者代表
稚魚等のお手渡し	お受取：水産関係者 介添え：県内高等学校生徒
海づくりメッセージ	漁業関係者等によるメッセージ
大会決議	豊かな海づくり大会推進委員会会長
大会旗引継	秋田県知事から宮城県（次期開催県）知事へ引継
次期開催県あいさつ	宮城県知事
閉会のことば	秋田県議会議長
御退席	御先導：秋田県知事
エピローグ、表彰	授賞者：秋田県副知事

予定所要時間 約90分

予定招待者数 1,000人

II 大会計画

ウ 出演計画

(ア) プロローグ



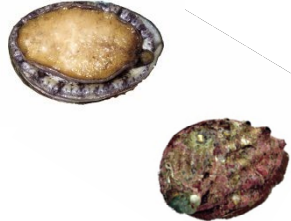

出演については、関係機関等の意見を参考にしながら、本大会や水産振興との関連性にも配慮しつつ、本県を代表する知名度の高い団体に依頼します。

(イ) 式典

音楽隊については、秋田県吹奏楽連盟等の意見を参考にしながら、全国大会出場経験が豊富な、本県を代表する中学校以上の吹奏楽団に依頼します。

また、本県の未来を担う子どもたちと漁業者、秋田県漁業協同組合等水産関係団体の積極的な参画を得ながら、簡素な中にも厳粛な演出内容とします。

エ お手渡し魚種等

魚種の内容	写 真
<p>○ハタハタ</p> <p>主な漁獲時期は10月から12月までの3か月、平成26年から28年までの平均漁獲量は1,081トンである。ハタハタ寿司（飯ずし）や、しょっつる（魚醬）は、本県の食文化に深く根付いており、平成14年には、「県の魚」に決定している。</p>	
<p>○サクラマス</p> <p>主な漁獲時期は3月から4月までの2か月、平成26年から28年までの平均漁獲量は41トン、平均放流実績は21万2千尾である。内水面では遊漁対象種として高い人気がある。</p>	
<p>○エゾアワビ</p> <p>主な漁獲時期は7月から8月までの2か月、平成26年から28年までの平均漁獲量は22トン（クロアワビ含む）、平均放流実績は61万6千個である。本県では、半世紀にわたり人工種苗の放流を行いながら、資源の保護に取り組んでいる。</p>	
<p>○ワカメ</p> <p>主な漁獲時期は3月から4月までの2か月、平成26年から28年までの平均漁獲量は131トンである。本県在来のボタメ系は、三陸産に比べて生育が劣ることから、県水産振興センターでは、大型化に向け改良を進めている。</p>	

出典 漁獲量－農林水産統計年報、放流実績－県水産漁港課調べ

Ⅱ 大会計画

3 海上歓迎・放流行事

(1) 会場配置

ア 基本的な考え方

2019年秋季の日曜日（午後）の開催とし、場所は秋田港飯島地区とします。港内のふ頭と水面を利用して、海上歓迎行事と放流行事を行います。

本大会開催のための設備設営や施設改修は、その必要性を十分に検討するとともに、既存施設をできるだけ活用する計画とします。

また、車両の進入・退出や乗降、徒歩移動など、参加者の負担にならないような動線を計画するとともに、地震や津波時の避難を迅速かつ円滑に行えるような駐車計画とします。

イ 御放流所

御放流所は、御放流の様子が招待者及び報道関係者から見やすい位置とするとともに、漁船等による海上歓迎パレードが安全で円滑に実施できる場所に設置します。

また、周辺の景観を損なわないように配慮しつつ、万一の風雨の影響を最小限に抑えるよう、十分な屋根の大きさを確保します。

御放流所の材料には、環境に配慮するとともに、可能な限り県産材を用いることとします。



海上歓迎・放流行事の会場イメージと放流状況

(山形県「第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～」実績報告書より)

Ⅱ 大会計画

(2) 行事計画

ア 基本的な考え方

漁船による秋田県の代表的な漁法紹介（海上歓迎パレード）等で招待者を歓迎します。

また、海への感謝の心を醸成し、次世代の豊かな海を継承するため、思いを込めて稚魚の放流を行います。

イ プログラムの概要（案）

進 行	内 容 ・ 出 演 者
歓迎演奏	音楽隊
進行概要説明	司会者
御着～御放流所移動	御先導：秋田県知事
海上歓迎	漁船等による海上歓迎パレード（漁法紹介）
御放流	御放流は2回程度 介添え：県内高等学校生徒
御発	御先導：秋田県知事

予定所要時間 約60分

予定招待者数 500人

ウ 出演計画

(ア) 歓迎演奏

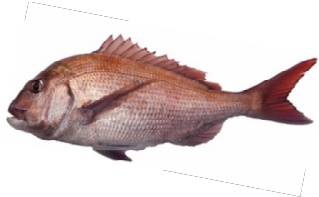

音楽隊については、秋田県吹奏楽連盟等の意見を参考にしながら、全国大会出場経験が豊富な、本県を代表する中学校以上の吹奏楽団に依頼します。

(イ) 海上歓迎及び放流

県内高等学校の生徒や漁業者、秋田県漁業協同組合等水産関係団体の参画を積極的に得るものとし、簡素な中にも厳粛な演出内容とします。

Ⅱ 大会計画

エ 御放流魚種

魚種の内容	写 真
<p>○マダイ 主な漁獲時期は5月から6月までの2か月、平成26年から28年までの平均漁獲量は214トン、平均放流実績は41万3千尾である。水揚げ量が県内最大の男鹿市では、毎年5月から6月に「男鹿の鯛まつり」が開催されている。</p>	
<p>○トラフグ 主な漁獲時期は5月から6月までと10月から11月までの各2か月、平成26年から28年までの平均漁獲量は6トン、平均放流実績は9万3千尾である。秋田市土崎地区では、毎年春と秋に「土崎みなとふくまつり」が開催されている。</p>	

出典 漁獲量－農林水産統計年報（トラフグは県水産漁港課調べ）、放流実績－秋田県水産漁港課調べ

4 歓迎レセプション

大会前夜に行う歓迎レセプションでは、魚介類をはじめ、本県の農林水産物を豊富に使った食材を提供する等の秋田らしい心のこもったおもてなしにより、県内外の参加者を歓待するものとします。

【次第（案）】

進 行	参 加 者
御着	御先導：秋田県知事
開宴のことば	秋田県副知事
主催者あいさつ	秋田県知事
歓迎あいさつ	秋田市長
乾杯	全国豊かな海づくり大会会長（衆議院議長）
御懇談	
御退席	御先導：秋田県知事
御歓談	
終宴のことば	秋田県議会議長

5 関連行事

(1) 会場配置

ア 基本的な考え方

本県水産業の特色や地元のおいしい魚介類、食文化、そして環境保全活動など、本県の魅力を県内外に発信することを目的として関連行事を開催します。

また、県民が一体となって、会場に訪れる多くの方々をおもてなしの心で歓迎し本県の魅力を発信することにより、観光と融合した地域の活性化につながる内容とします。

(2) 行事計画

ア ステージイベント

式典行事や海上歓迎・放流行事の映像中継により、各行事との一体感を醸成するとともに、特色あるアトラクションを展開し、多くの方々を引きつける構成とします。

イ 企画展示

本県水産業の特色や漁法の紹介、海洋環境の保全に向けた取組、そして作文・絵画・習字コンクールの出展作品を展示する等の企画展示を行うことにより、豊かな海を守り育て、将来に引き継いでいく大切さを広く発信する構成とします。

ウ ふれあい体験

魚のタッチプール、海や河川にちなんだ工作体験等を通じて、自然環境の大切さを楽しんで学べるような構成とします。

エ 特産品販売

水産物をはじめとした県内各地の特産品を広くアピールし、本県の食文化を楽しんでいただけるような構成とします。

(3) 開催場所

大会の開催機運を全県でより一層盛り上げられるよう、本大会の開催場所である秋田市のほか、関係市町村や水産関係団体等の意見を尊重し、実施計画で定めます。

Ⅱ 大会計画

6 大会運営計画

(1) 基本的な考え方

大会を円滑に推進するため、事前に関係機関と十分な調整を行い、来場者の安全を確保し、心のこもったサービスを提供します。

(2) 計画概要

ア 運営体制

おもてなしの精神で、来場者の心に残る大会運営に努めます。

また、環境への負荷を軽減し、「人と環境にやさしい」運営に努めます。

イ 緊急時対応

警察、海上保安庁、消防、医療機関等の関係機関と連携し、事故防止や非常時の迅速な対応に努めます。

ウ 県民参加

県民との協働による大会運営に努めます。

7 宿泊・輸送等計画

(1) 宿泊等基本方針

第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会 宿泊等基本方針

第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会に参加する招待者及びその他大会関係者（以下「大会参加者」という。）に対し、安全かつ快適な宿泊施設や食事を提供するものとする。

1 宿泊施設

(1) 大会参加者が利用する宿泊施設は、旅館業法の許可を受けて営業を行うホテル、旅館等とし、消防法や食品衛生法等の関係法令を遵守している施設とする。

(2) 会期中に大会参加者が利用する宿泊施設は原則として秋田市内の施設とする。

2 配宿

(1) 配宿は、できる限り大会参加者の希望に応じて対応する。

(2) 大会参加者の利便性、都道府県別、参加区分、男女別等に配慮して配宿する。

3 宿泊料金

大会参加者の宿泊料金は、宿泊施設の内容を勘案し段階別料金を設定する。

4 食事

宿泊施設で提供される食事及び会期中に提供される弁当等は、衛生的で栄養バランスがとれ、地元食材を取り入れた郷土色豊かなものとなるよう配慮する。

Ⅱ 大会計画

(2) 輸送基本方針

第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会 輸送基本方針

第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会に参加する招待者及びその他大会関係者及び一般来場者（以下「大会参加者」という。）の輸送については、関係機関・団体等の協力を得て交通及び道路の状況に十分配慮しながら輸送体制を確立し、安全かつ確実な輸送を実施するものとする。

1 来県時及び離県時の輸送

自由集合、自由解散とする。

2 大会開催日等の輸送

(1) 招待者の輸送

ア 指定宿泊施設を利用する者については、原則として、当該宿泊施設から各会場までの間をバスによる計画輸送を行う。

イ 指定宿泊施設を利用しない者については、原則として、指定集合地から各会場までの間をバスによる計画輸送を行う。

(2) その他大会関係者の輸送

その他大会関係者については、バスによる計画輸送または公共交通機関による輸送を行う。

(3) 一般来場者の輸送

一般来場者の輸送については、バスによる計画輸送または公共交通機関による輸送を行う。

(4) その他

会場までの車両の乗り入れについては、大会参加者の交通安全の確保と会場周辺の混雑緩和を図るため、周辺における道路交通事情及び駐車場の措置状況に応じて必要な制限を行う。

3 車両及び駐車場の確保

(1) 計画輸送に必要な車両については十分に確保し、効率的な利用を図る。

(2) 駐車場については、可能な限り確保に努め、効率的な利用を図る。

4 交通安全対策

大会参加者等の交通安全の確保と交通混雑の緩和を図るため、交通規制等の適切な措置を講じる。

Ⅱ 大会計画

(3) 医事衛生基本方針

第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会 医事衛生基本方針

第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会に参加する招待者及びその他大会関係者及び一般来場者（以下「大会参加者」という。）の医事衛生については、関係機関・団体等の協力を得て適切な対策を講じるものとする。

1 医療救護

大会参加者等の傷病発生に対処するため、応急措置及び医療機関への搬送等を行うため医療救護体制を整える。

2 食品衛生

大会参加者等の飲食物の安全を期するため、食品衛生の徹底を図る。

3 環境衛生

大会参加者等に清潔快適な環境を提供するため、各会場及び宿泊施設の環境衛生の徹底を図る。

4 感染症対策

大会参加者等の感染症の発生及び蔓延の防止のための防疫体制を整える。

(4) 警備防災基本方針

第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会 警備防災基本方針

第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会の開催にあたり災害または事故等の発生を未然に防止し、非常時に迅速かつ適切な措置を行うため、関係機関・団体等の協力を得て、警備防災体制を確立し、安全かつ円滑な大会運営を図る。

1 警 備

(1) 会場及び会場周辺において、事故や犯罪の発生を防止するため、適正な警備体制を整え、状況に応じた的確な交通整理や誘導・規制を行う。

(2) 事故発生時における連絡体制を整え、避難誘導及び緊急自動車の出動に伴う交通整理・誘導等を行う。

2 防 災

(1) 会場、宿泊施設等における火災等の予防等を徹底するとともに、避難経路を確保する。

(2) 地震・津波等の災害発生時には適切な避難誘導を行うとともに、必要に応じ迅速な救助・救急要請等を行う。

Ⅱ 大会計画

8 荒天時等の計画

(1) 基本的な考え方

荒天時や地震・津波・噴火等の災害、火災・停電等その他突発的事案が発生した際、大会行事の開催可否を決定するため、判定会議を開催します。

判定会議は、気象状況や災害、突発的事案の情報収集・整理を行い、主催者に了承を得るとともに実施の可否を判断することとします。

なお、大会行事の実施・変更・中止の判断基準は、実施計画で詳細を定めます。

(2) 荒天時の実施内容

判定会議において荒天により海上歓迎行事の実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画（A）に変更し、行事を実施します。

さらに、海上歓迎・放流行事の両方の実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画（B）に変更し、行事を実施します。

	荒天時計画（A）	荒天時計画（B）
式典行事	計画通り実施	計画通り実施
海上歓迎行事	中止	中止
放流行事	計画通り実施	中止

なお、地震や台風等により屋内での行事実施も困難である（招待者や出演者の会場への移動に危険が伴う場合等）と判断した場合は、全ての行事を中止します。

(3) 大会行事開催中の災害発生時及び突発的事案発生時の対応

気象台や警察、消防、関係市町村など、関係機関からの情報収集・整理を行いながら、大会行事の変更及び中止の決定を速やかに行います。

(4) その他

上記の緊急事態に迅速かつ円滑に対応するため、大会開催前のリハーサル又は車両試走等の場を活用して、避難訓練等の適切な準備措置を講ずるものとします。

Ⅲ 機運醸成・広報計画

1 機運醸成に向けた取組

(1) 基本的な考え方

1年前プレイベントをはじめとする行事の開催を通じて、本大会の円滑な開催に向け、全県的な機運醸成を図ります。

また、県産魚介類の消費拡大を図ることを通じて水産業振興に資するため、「地魚フェスティバル」を定期的に開催するとともに、森から海に至るつながりや環境保全の大切さを理解してもらうため、「県民総合リレー放流」等を実施します。

(2) 活動内容

ア 機運醸成に向けた取組

(ア) 地魚フェスティバル

- 期日：平成29年～31年
- 会場：日本海沿岸市町村
- 内容：県産魚介類の認知度向上と消費拡大、水産業への理解を深めるため、集客力の高いイベント（ステージ、展示、物販）を定期的に開催

(イ) 豊かな海づくりキャラバン

- 期日：平成29年～31年
- 会場：県内全域
- 内容：集客力の高い大規模イベントと連携を図りながら、全県的な機運醸成を図ることを目的としたキャラバンを展開

(ウ) 1年前プレイベント

- 期日：平成30年秋季（大会期日の約1年前）
- 会場：秋田市（場所未定）
- 内容：大会の機運醸成と円滑な運営を図るため、本大会のプログラム（予定）に基づく放流・海上パレード等を実施

イ 水産資源の増大と教育に向けた取組

(ア) 県民総合リレー放流

- 期日：平成29年～31年
- 会場：県内全域
- 内容：園児・児童・生徒等による稚魚の放流を実施

ウ 秋田の水産業を普及啓発するための取組

(ア) 地元魚介類や食文化に関するPR映像とパンフレットの制作

四季折々にとれる地元魚介類を素材に、その生産状況や食文化、伝統料理等を取り上げて動画やパンフレットを制作し、本大会はもちろん、上記の豊かな海づくりキャラバン等と連携しながら、県内外に広く継続的に発信します。

Ⅲ 機運醸成・広報計画

2 広報活動

(1) 基本的な考え方

大会テーマや大会キャラクターを活用しながら、各種広報媒体を通じて積極的かつ効果的な広報を実施します。

(2) 活動内容

ア 第38回全国豊かな海づくり大会（高知県）への参加

高知県で開催される「第38回全国豊かな海づくり大会」（平成30年10月27日～28日）に参加し、次期開催の周知とともに、豊かな水産物をはじめ本県の魅力をPRします。

イ 大会テーマと大会キャラクターによる広報

大会テーマと大会キャラクターを活用した大会PRグッズの作成・配布等のPR活動を展開します。

ウ 映像や印刷物による広報

本県水産業の紹介映像や大会ポスター・リーフレットの作成・配布、既存の行政広報誌等を活用した広報活動を展開します。

エ 多様なメディアによる広報

各報道機関への情報提供や県政報道番組（テレビ、ラジオ）等を活用し、大会に関する情報を迅速かつ広域的に発信します。また、大会ホームページ等を通じた情報提供・発信も併せて行います。

オ コンクール実施による広報

豊かな海づくり大会推進委員会との共催により、小・中・高校生を対象とした作文・絵画・習字コンクールを行い、大会の開催趣旨を広く啓発します。

カ 屋外広告物等による広報

懸垂幕や広告塔・カウントダウンボード等の設置等により、大会の開催について広く周知します。

キ 大会実績報告書等の制作

開催までの取組や大会当日の様様を記録した、大会実績報告書及び記念映像を制作します。

Ⅳ 予算及び実施スケジュール

1 予算

年 度	当初予算額 (百万円)	主な取組内容
平成 28 年度	0 [債務負担]	<ul style="list-style-type: none"> ○大会準備委員会設立・運営 ○秋田の地魚・食文化等PR映像・パンフレット制作
平成 29 年度	21	<ul style="list-style-type: none"> ○大会実行委員会設立・運営 ○基本構想及び基本計画作成 ○秋田の地魚・食文化等PR映像・パンフレット制作 ○県民総合リレー放流実施 ○地魚フェスティバル開催 ○豊かな海づくりキャラバン ○大会テーマ・大会キャラクターコスチュームデザインの募集・選定
平成 30 年度	52	<ul style="list-style-type: none"> ○大会実行委員会運営 ○実施計画作成 ○実施本部設立 ○大会テーマ・大会キャラクターコスチュームデザインの展開 ○県民総合リレー放流実施 ○豊かな海づくりキャラバン ○1年前プレイベント開催（地魚フェスティバルと連携）
平成 31 年度	未定	<ul style="list-style-type: none"> ○大会実行委員会運営 ○実施本部運営 ○本大会に係る各業務の委託 ○県民総合リレー放流実施 ○豊かな海づくりキャラバン ○100日前プレイベント開催（地魚フェスティバルと連携） ○本大会開催 ○大会実績取りまとめ

2 実施スケジュール

年度	月	大会開催計画	機運醸成・広報計画	
平成29年度	2月			
	3月			
平成30年度	4月	実行委員会(4.26) (基本計画決定)	<p>県民総合リレー放流実施による開催機運をオール秋田で醸成</p> <p>地魚フェスティバル実施による水産物の消費の拡大運動を展開</p> <p>豊かな海づくりキャラバンを県内において強力に展開</p> <p>ホームページ・ポスター等によるPR</p>	
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	開催期日 決定(予定)		
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月	実行委員会 (実施計画決定)		
平成31年度	4月		1年前プレイベント	
	5月		高知大会でPR (10.27~28)	
	6月			
	7月			
	8月	1ヶ月前総合リハーサル	大会公式ポスター作成	
	9月	前日総合リハーサル	大会記念作品募集開始 (作文・絵画・習字)	
	10月	第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会		100日前プレイベント
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月	実行委員会	大会実績報告書等作成	



事 務 局

秋田県農林水産部水産漁港課全国豊かな海づくり大会推進室

〒010-0951

秋田県秋田市山王4丁目1-2

秋田地方総合庁舎2階

TEL 018-860-1888

FAX 018-860-3851